

◎オノンカプセル・▼ドライシロップ [内]

【重要度】 【一般製剤名】 プランルカスト水和物 pranlukast hydrate 【分類】 ロイコトリエン受容体拮抗薬

【単位】 ◎112.5mg/C, ▼10% (100mg/g)

【常用量】 450mg (4cap) /日

【用法】 1日2回朝・夕食後

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 気管支喘息、アレルギー性鼻炎に用いられるロイコトリエン受容体拮抗薬

【主な副作用・毒性】 ショック、アナフィラキシー、血球減少、消化器症状、肝機能障害、間質性肺炎、横紋筋融解症、不眠、発熱、タンパク尿、頭痛、動悸、浮腫、しびれ、女性化乳房など。精神症状との関連が指摘されている (2010.3)

【F】 朝投与するよりも夜投与する方が F は高い (Br J Clin Pharmacol 44: 289-291,1997) 5%未満 [イヌ] (1) 吸収率は12.5%以上と推定 (1)

【tmax】 5.2hr (1)

【代謝】 主に肝臓で1回もしくは2回水酸化される (1) 主として CYP3A4 が代謝に関与 (1) M-3 の活性は未変化体の 1/2 であるが、存在比は 1/4 と低い (1)

【排泄】 尿中回収率 0.24% [po, 72hr まで] (1) 糞便中回収率 98.9% [po, 72hr まで] (1) 主代謝物は水酸化体 (1) 【CL/F】 1.14L/hr/kg (1)

【t1/2】 1.15hr (1)

【蛋白結合率】 99.8% (1)

【Vd/F】 1.53L/kg (1)

【MW】 490.51

【透析性】 蛋白結合率が高いため透析で除去されにくいと思われる (5) 資料なし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない。有効濃度は薬理試験 [モルモット] より 100ng/mL 以上と推定 (1) 【薬物動態】 老化による薬物動態の変化は認められない (Int J Clin Pharmacol Ther 34: 375-379,1996) 【O/W 係数】 資料なし (1) 【pKa】 3.42

【効果発現時間】 平均 2hr と推定される (1)

【効果持続時間】 約 8~10hr と推定される (1)

【備考】 カプセルの内容物は粉末

【更新日】 20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。